

カンファレンスコール用資料

# 2009年度 第3四半期決算

(2009年4月1日～2009年12月31日)

開催日時 2010年1月29日(金)  
14:00～15:00

説明者  
取締役専務執行役員 松田 等



第一三共株式会社

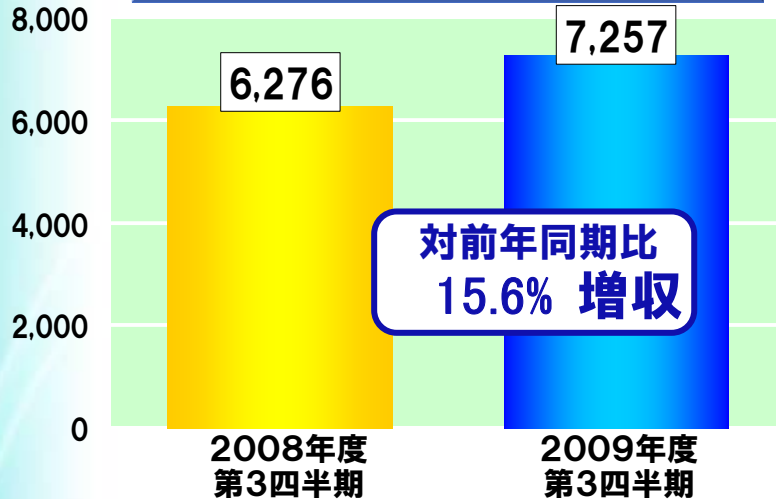
# MEMO



# 2009年度 第3四半期 実績の概要

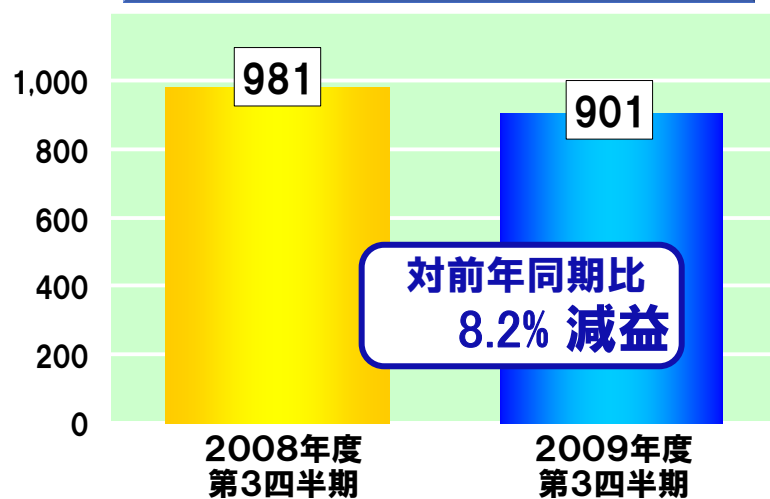
(億円)

## 売上高



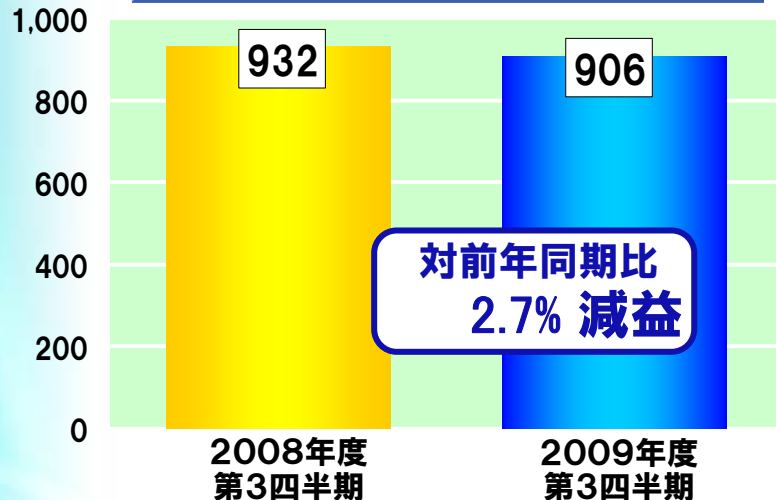
(億円)

## 営業利益



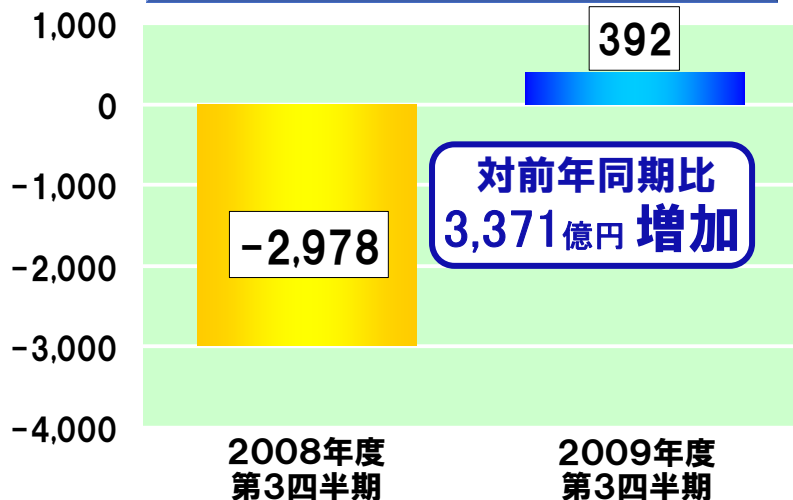
(億円)

## 経常利益



(億円)

## 純利益



# 2009年度 第3四半期 実績の概要 - 前年同期との比較 -

(単位：億円、金額上段は対売上高構成比)

	2008年度 第3四半期 (4-12月)			2009年度 第3四半期 (4-12月) 実績					
	実績 ①	Ranbaxy社 のれん償却 等	除:Ranbaxy 関連 ②	③	単純比較 ③-①	Ranbaxy社 1-9月 実績	Ranbaxy社 のれん償却 等	除:Ranbaxy 関連 ④	実質比較 ④-②
売上高	100.0% 6,276		100.0% 6,276	100.0% 7,257	980	100.0% 1,022		100.0% 6,235	-41
売上原価	24.0% 1,508		24.0% 1,508	29.3% 2,127	619	56.2% 574		24.9% 1,553	45
販管費	39.8% 2,496	55	38.9% 2,441	38.8% 2,812	316	38.0% 388	45	38.2% 2,379	-62
研究開発費	20.6% 1,292		20.6% 1,292	19.5% 1,417	125	6.7% 68		21.6% 1,349	57
販管費計	60.4% 3,788	55	59.5% 3,733	58.3% 4,229	442	44.6% 456	45	59.8% 3,728	-5
営業利益	15.6% 981	-55	16.5% 1,035	12.4% 901	-80	-0.8% -8	-45	15.3% 954	-82
経常利益	14.8% 932	-55	15.7% 987	12.5% 906	-25	-2.1% -21	-45	15.6% 973	-14
当期純利益	-47.5% -2,978	-3,595	9.8% 617	5.4% 392	3,371	-2.9% -29	-10	6.9% 431	-185

# 増減の内容 - 前年同期との比較 -

**1. 売上高 7,257億円 (+980億円, +15.6%)**

- 実質比較 (-41億円) 円高影響は(約 -240億円)
  - オルメサルタン (+179億円)
  - ロキソニン (+67億円)
  - エフィエント (+12億円)
  - レボフロキサシン (-97億円)
  - プラバスタチン (-40億円)
  - パナルジン (-28億円)
  - エイゾール共同販促解約時一時金 '08計上 (-47億円)
- Ranbaxy (+1,022億円)
  - 地域別売上構成比 北米 (21%), インド (21%), 欧州 (18%), 他地域 (40%)

**2. 営業利益 901億円 (-80億円, -8.2%)**

- 実質比較 (-82億円)
  - 売上総利益減 (-86億円)
    - ・円高による減収影響を数量拡大で補ったことによる原価率の悪化
  - 販管費 (-62億円) ・DSIを中心とする販促費減等
  - 研究開発費 (+57億円) ・Edoxaban等プロジェクト費用増
- Ranbaxy関連 (+2億円)
  - Ranbaxy社自体の営業損失 (-8億円)
  - のれん/無形固定資産に関わる償却費 (-10億円)

## 増減の内容 - 前年同期との比較 -

### 3. 経常利益 906億円 (-25億円, -2.7%)

- 営業外収益 (191億円)
  - Ranbaxy関連 (124億円) ・デリバティブ評価益等
  - Ranbaxy以外 (67億円)
- 営業外費用 (185億円)
  - Ranbaxy関連 (138億円) ・デリバティブ実現損等
  - Ranbaxy以外 (47億円)

### 4. 純利益 392億円 (+3,371億円\*)

- 特別利益 (38億円) ● 固定資産売却益 (19億円) ● 投資有価証券売却益 (18億円)
- 特別損失 (35億円) ● 事業再編関連損失 (18億円) ● 固定資産処分損 (7億円)
- 法人税等 (528億円)
  - 過年度 (2008年度) 税金計算の修正 (75億円)
  - DS単体の試験研究費税額控除不適用 等
- 少数株主利益 (-10億円) ……Ranbaxy社に関わる少数株主持分 (36%)

\*前年同期はRanbaxy株式取得に伴うのれん減損 (3,540億円) により2,978億円の純損失を計上

# 2009年度 業績予想 概要

(単位：億円、金額上段は対売上高構成比)

	2009年度 修正予想 (10月公表) ①	2009年度 最新業績予想		
		②	差異 ②-①	備考
売上高	100.0% 9,600	100.0% 9,600	0	・増額要素：海外子会社の寄与拡大 ・減額要素：国内医療用医薬品等
売上原価	29.5% 2,830	29.7% 2,850	20	・事業ミックスの変化による原価率の悪化
販管費	40.3% 3,870	40.1% 3,850	-20	・継続的な経費構造改善
研究開発費	20.2% 1,940	20.2% 1,940	0	
販管費計	60.5% 5,810	60.3% 5,790	-20	
営業利益	10.0% 960	10.0% 960	0	
経常利益	7.2% 690	10.4% 1,000	310	インドルビーの対米ドルレート変動に伴うRanbaxy社 デリバティブ損益改善 ・10月公表値の前提：2009年3月末レート ・今回公表値の前提：2009年12月末レートにて試算
純利益	4.2% 400	4.7% 450	50	・過年度税金計算の修正、試験研究費税額控除の 不適用により、法人税等調整額が拡大したことで 純利益は小幅な増額

# MEMO





# 主要製品の状況 - 邦貨換算 -

(単位：億円)

		2008年度 第3四半期 実績 (4-12月)	2009年度 業績予想			2009年度 第3四半期 実績		
			修正予想 (10月時点)	最新予想(2010年1月)		4-12月 実績	進行率	対前年同期 比較
					差異			
GLOBAL	オルメサルタン <高血圧症治療剤>	1,622	2,400	2,380	-20	1,801	75.7%	179
	レボフロキサシン <合成抗菌剤>	751	885	845	-40	654	77.4%	-97
	プラバスタチン <高コレステロール血症治療剤>	485	560	560		445	79.5%	-40
	プラスグレル * 共同販促収入	-	-	-	-	12	-	12
日本	カルブロック <高血圧症治療剤>	94	150	140	-10	108	77.1%	14
	アーチスト <高血圧症治療剤>	170	240	240		183	76.4%	13
	クレメジン <慢性腎不全用剤>	99	140	140		105	75.3%	6
	ロキソニン <消炎鎮痛解熱剤>	304	525	500	-25	370	74.1%	67
	オムニパーク <造影剤>	226	280	280		218	77.9%	-8
	ユリーフ <排尿障害改善剤>	57	100	95	-5	70	74.0%	13
米国	ヴェノファー <貧血治療剤>	252	310	310		241	77.8%	-11
	ウェルコール <高コレステロール血症治療剤 /2型糖尿病治療剤>	192	270	270		207	76.7%	15

# 主要製品の状況 - 現地通貨ベース -

		2008年度 第3四半期 実績 (4-12月)	2009年度 業績予想			2009年度 第3四半期 実績		
			修正予想 (10月時点)	最新予想 (2010年1月)		4-12月 実績	進行率	対前年同期 比較
					差異			
第一三共 Inc.<米国> (百万ドル)	Benicar / Benicar HCT	659	927	950	22	716	77.2%	57
	Azor	62	140	140		105	75.1%	43
	Welchol	186	291	291		221	76.0%	35
第一三共ヨーロッパ GmbH <欧州> (百万ユーロ)	Olmetec / Olmetec Plus	184	312	310	-2	214	68.7%	30
	Sevikar	9	42	42		32	77.1%	23
ルイトボルド ファーマシューティカルズ Inc.<米国> (百万ドル)	Venofer	245	334	334		258	77.1%	13

# 研究開発 パイプラインの状況



# 研究開発パイプラインの変化（10月以降）

## ■ ステージの進捗

### ■ CS-8635（欧）

オルメサルタン/アムロジピン/ヒドロクロロチアジドの配合剤（P3→承認申請中）

### ■ CS-866AZ（日） 製品名:レザルタス

オルメサルタン/アゼルニジピンの配合剤（承認申請中→承認）

# 主要開発品目一覧表

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	承認申請中
循環器	・DB-772d	・オルメテック/ 利尿剤合剤 (#)	・ <u>Edoxaban</u> ・ <u>プラスケレル (ACS-MM)</u>	・オルメテック/ カルブロック合剤 (#)  ・ <u>CS-8635</u>
糖代謝	・CS-1036 (#)			
感染症			・Laninamivir (CS-8958)	・レボフロキサシン注 (#)
がん	・U3-1287	・Tigatuzumab ・ニモズマブ (#) ・ARQ 197 ・CS-7017		
免疫・アレルギー	・CS-0777	・SUN13834		
骨・関節			・ <u>Denosumab (#)</u>	・ロキソニンゲル (#)
その他		・ソナゾイド <sup>®</sup> 効能追加 (#) 〈前立腺病変の造影/ 乳腺病変の造影〉	・ヒトグレリン ・メマンチン (#)	・シロドシン
合計	4	7	6	4

- ・グローバル(日本以外)で開発している課題に関しては、最も進んだステージのみ記載
- ・アンダーライン(青字)は現在の優先プロジェクト
- ・#:日本のみの開発

# 2009年度 第一三共主催 主要イベント予定

内容	日付
第2期 (2010-2012) 中期経営計画説明会	2010年3月12日 (金) 16:00
2009年度決算	2010年5月12日 (水) 開示 2010年5月13日 (木) 説明会

本資料に関するお問い合わせ先

**第一三共株式会社**  
**コーポレートコミュニケーション部**

**TEL: 03-6225-1126**

**FAX: 03-6225-1132**

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

つくっているのは、希望です。



**第一三共株式会社**